

策定の方針について

第1回 伊勢市観光振興基本計画推進委員会
令和7(2025)年7月31日

- 新計画案の策定において、以下のような方針で内容の検討を行う。

Point 1 計画内容の刷新と施策の見直し

- 新計画では、外部環境や政策の変化を踏まえて、全体的な内容を刷新する。
- ただし、現行計画で取り組んでいる施策や内容については、再評価し、必要に応じて見直しや拡充を行う。

Point 2 第63回神宮式年遷宮(令和15(2033)年)へ向けた考え方の継承

- 現行計画で明記している第63回神宮式年遷宮(令和15(2033)年)に向けた伊勢市のありたい姿は、新計画においても引き続き継承する。
- これらの理念は、長期的な視点で重要であり、計画の根幹を成すものとして位置づける。

Point 3 数値目標の再設定

- 施策内容の変更に応じて、数値目標を再設定する。
- 新たな目標値は、刷新された計画内容と整合性を持たせ、実現可能かつ挑戦的な水準で設定する。

2 新計画策定において重要な視点

再掲



- 令和7(2025)年から、**第63回神宮式年遷宮関連行事**がはじまり、**地域の機運の高まり**や**国内外の来訪者増**が見込まれる一方で、近年は、有名観光地での観光公害等も大きな問題となっており、**地域や住民を守る視点**も求められている。
- 今後の持続可能な観光の推進に向けて、以下のような視点を念頭に置きつつ、新計画の策定が重要となる。

新計画策定において重要な視点

持続的な観光地経営等の
本物・本質志向の拡大



観光の価値を高める
旅行の推進



観光庁 高付加価値
旅行者の誘客に向
けて集中的な支援
等を行う「**モデル観
光地11地域**」として、
**伊勢志摩及び周辺
エリアが選定。**

デジタル技術の活用や
観光のICT化



【事例紹介】

▶京都市

データに基づく施策により、観光地の混雑緩和や周遊促進、宿泊施設の経営改善に寄与。

▶鶴巻温泉

元湯陣屋が開発したクラウド型宿泊施設管理システム(予約・顧客情報の一元管理、社内連絡・連携、経営指標の可視化など)により、経営再建を果たす。

観光を起点にまちのファン
(関係人口)を増やす



インバウンド誘客の
拡大



交通不便の改善・
交通手段拡充など、
住民と観光客の双方にとって
win-winな観光地経営



神宮式年遷宮関連行事
の開始



宿泊割合の向上



3 数値設定の考え方

- 理解しやすい評価指標及び目標設定については、計画における基本理念、基本方針とそれに紐づく具体的方針といった政策体系を踏まえ、基本方針毎に評価指標と数値目標を設定する。
- 設定した評価指標と数値目標については、計画期間内でのスケジュールとの関連から、中間目標と最終目標を示し、定量的に進捗状況を把握する。

成果指標の構造 例



- 既存の観光振興基本計画で示されている「常若の精神とSDGs」という方針は、新計画策定においても引き継ぐとともに、評価指標の検討においては、「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の内容も踏まえる。
- 新計画策定で想定している取り組みにおいて、どの程度カバーできるかを確認し、検討が必要な指標とその内容についても整理する

4 検証の方法について



- 現行計画の検証については、毎年集計及び報告されている「伊勢市観光振興基本計画 検証結果」などをもとに実施する。
- 現行計画の目標指標、モニタリング指標について達成状況の評価を行うことで、現行計画の推進状況を確認し、次期伊勢市観光振興基本計画における成果指標の数値検討に活用していく。

<評価スコア一覧のイメージ>

目標指標				目標値【A】	実績値【B】	達成状況		前回策定時【B】 (現状値)	参考値				出典
	番号	項目	単位	2025年/R7	2025年	【B-A】	評価	2021年	2022年	2023年	2024年		
計画の全体目標													
	0-1	神宮参拝者数	人	8,000,000	9,000,000	1,000,000	達成	3,827,451	6,037,000	7,173,000	7,541,000	神宮司庁	
	0-2	観光地平均立ち寄り箇所数 日帰り	地点	3	3	0	達成	2.85	2.81	2.91	2.57	伊勢市観光客実態調査	
	0-3	市内宿泊者数	人	700,000	600,000	-100,000	未達成	467,563	XXX	XXX	XXX	伊勢市観光統計	
基本方針 1 「神宮を中心とした物語性」の発掘・展開													
	1-1	観光客総合満足度	%	91.5%	99.5%	8.0%	達成	91.5%	XXX	XXX	XXX	伊勢市観光客実態調査	
※	1-1-①	せんぐう館入館者数	人	－	－	－	－	40,657	XXX	XXX	XXX	神宮司庁	
※	1-1-①	市民の満足度(市民プライド・誇り)	%	－	－	－	－	66.3%	XXX	XXX	XXX	伊勢市市民アンケート調査	
基本方針 2 ターゲット別 PR 戦略と関係人口の確保・創出													
	2-1	伊勢市観光協会ホームページのセッション数	セッション	1,050,000	1,500,000	450,000	達成	399,941	XXX	XXX	XXX	公益社団法人伊勢市観光協会	
※	2-1-①	ターゲットエリアからの来訪割合	%	－	－	－		愛知県 24.9%	XXX	XXX	XXX	伊勢市観光客実態調査	
								三重県 15.5%	XXX	XXX	XXX	伊勢市観光客実態調査	
								大阪府 14.8%	－	－	－	伊勢市観光客実態調査	
								東京都 8.0%	XXX	XXX	XXX	伊勢市観光客実態調査	
								兵庫県 5.4%	－	－	－	伊勢市観光客実態調査	
								京都府 4.3%	－	－	－	伊勢市観光客実態調査	
※	2-1-②	ふるさと応援寄附金の件数	件	－	－	－	－	6,225	XXX	XXX	XXX	伊勢市企画調整課	
※	2-2-③	ISE ONE セッション数	セッション	－	－	－	－	令和5年 3月/リ	－	－	－	伊勢市商工労政課	
基本方針3 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX													
	XXX	XXX	X	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	

<計画の推進状況把握>

具体的方針 1 SDGsに基づく持続可能な観光振興の観点から神宮や関連資源の再認識		
◆神宮の持つ物語性・精神性や価値の再認識と共有		
・常若の精神を学ぶ資料等の作成・充実	○	強化・拡大
・常若の精神を学び体感できるサステナブルな旅行を受け入れるための情報の整理・提供	△	再検討
◆神宮関連施設等の文化施設認知度向上に向けた魅力向上への取組と利用促進		
・お木曳行事などの伊勢市が承継してきた民俗行事の継承・創出や地域資源の物語性を生かした情報発信	◎	維持
具体的方針 2 市民(内)と来訪者(外)の視点を生かした魅力ある地域資源の発掘・磨き上げ		
◆自然、景観、歴史・生活文化、食、芸術性などの様々な地域資源をまち全体で発掘・磨き上げ		
・食の地域資源を活用した地産地消や農業体験等の一次産業と連携した体験型観光コンテンツの造成	○	維持
・クリエイターズ・ワーケーション等を通して構築した人とのつながりを生かした観光事業の展開	○	維持

5 デザイン制作の考え方

- 計画書及び概要版の作成に関しては、伊勢市民や市内の事業者等、多様な主体の方々に伊勢市の観光振興の方針の理解と共に、伊勢市の多様な魅力を伝えるような表現方・デザインを目指す。
- 既存計画のデザインの良い部分を引き継ぐと共に、より分かりやすく親しみやすいデザインにするため、写真等も活用しながら編集を行う。

既存計画のデザインを踏襲する点

- ワード原稿のような文章表現だけの単調なレイアウトではなく、箇条書き等も使いながら、読みやすい工夫をする。
- タイトルの大きさや、大見出し、小見出しを付けると共に、フォントの大きさ、色等もメリハリをつける。
- スペースを活用し、グラフや図表を活用し、わかりやすい表現にする。
- 各施策におけるSDGsの項目との関連性の表現について検討する。

今後、検討したい改善点(案)

- 表紙や本文中に写真等も入れながら、伊勢市の雰囲気デザインや色の要素に取り上げていき、伊勢市らしさを表現する。
- 章ごとにテーマカラーを設定し、何のテーマの項目かを一目でわかりやすく編集する。





感動のそばに、いつも。